

「南予生物フィールドノート」投稿規定

- ・地域の自然史にとって貴重な情報で、刷上がり1頁以内に収まるものを投稿できる。
- ・投稿者のうち、少なくとも一人は南予生物研究会会員とする。
- ・原則として1報につき1種とし、当該種の明瞭な写真をつけ、その特徴および、記録の意義について簡潔にまとめるものとする。
- ・写真の大きさによるが、表題、著者名を除く文字数はおおむね全角900文字程度をめどとする。投稿者は誌面のレイアウトを意識し、文字数を調整すること。
- ・原稿は生物種の写真と文章で構成し、図表は付与しない。
- ・報告する生物種のうち、標本が得られているものについては、可能な限り公的機関に登録し、標本情報を明記する。
- ・標本を得ていない報告においては、可能な限り写真と記述により種の特徴が識別できるよう配慮する。
- ・観察／確認地点は、種の希少性等に配慮する必要がある場合を除き、可能な限り詳細に記す。必要に応じて確認地点の写真を補足的に追加できる。
- ・投稿にあたっては、HPにある投稿用テンプレートを用いて、写真と文章をレイアウトして提出する。事務局は必要に応じ、投稿者にレイアウトの改定を提案することがある。
- ・投稿者の責において、英文タイトルを付すことができる。必要な場合は著者名と論文タイトルの英文表記を原稿末尾に付記する。
- ・掲載報告の著作権は南予生物研究会に帰属する。ただし、用いられた写真は各投稿者に帰属する。
- ・別刷は作成しない。希望する著者にはPDF版を配付する。

原稿の書き方

- ・原稿はMS-Wordで作成する。和文フォントはMSP明朝体、英文はTimes New Roman体とする。
- ・原稿は和文タイトル、和文著者氏名、所属（任意）、責任著者の連絡先e-mailアドレス、写真、写真説明、本文、英文著者名およびタイトル（任意）の順とする。
- ・本文に緒言、材料および方法、考察の項目は設けない。
- ・写真は原則カラーとし、原稿に貼り付けて投稿する。貼り付けサイズは過大にならないよう配慮する。
- ・引用文献のスタイルは「南予生物」にあわせる。
- ・その他詳細は掲載されたものを参照する。

備 考

- ・「南予生物フィールドノート」を引用する場合の和文および英文スタイルは以下のとおり。
清水孝昭・後藤直登. 2022. 愛媛県宇和島湾で得られたアザハタ. 南予生物フィールドノート, 22001.
Shimizu T, Goto N. 2022. New record of *Cephalopholis sonnerati* (Epinephelidae) from Uwajima bay, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 22001.

2022年8月3日新規制定 2022年12月4日一部改訂 2023年6月17日一部改訂

<投稿先> 南予生物研究会事務局 e-mail : tuzihaze2@gmail.com

〒795-0081 愛媛県大洲市菅田町菅田甲 1131-1 辻 幸一方